

「事業継続力強化計画 in 沖縄」を開催 ～国の認定制度がある「事業継続力強化計画」の内容や作成経験談を講演～

日本損害保険協会沖縄支部（委員長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、事業継続力強化計画の普及を目的に「事業継続力強化計画 in 沖縄」を一般社団法人 沖縄県損害保険代理業協会と共催で3月11日（火）に那覇市内で開催しました。

事業継続力強化計画とは、企業の災害リスク等を認識し、防災・減災対策の第一歩として、事業継続計画（BCP）の対策範囲を4大経営資源（人・物・資金・情報）の災害等対策に絞り、中小企業でも導入しやすくした計画で、国による認定制度が運用されています。

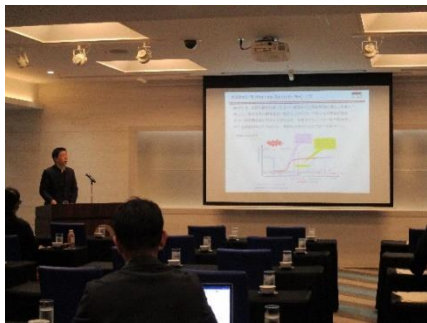
令和6年12月末までの認定件数は全国73,503件に及んでおりますが、沖縄県は542件に留まっており、まずは事業継続力強化計画を、県の企業経営者やリスクマネジメントを担う損害保険代理店の方々に知っていただく機会となればと考え、本セミナーを開催しました。

開会に先立ち沖縄県損害保険代理業協会 大城 拓 会長から「事業継続力強化計画は、災害等の被害が発生した際に、早く平常運転に事業を戻すために必要な計画です。本日のセミナーが事業継続力強化計画の作成、また普及に繋がればと考えている。」と挨拶がありました。

講演会では、始めに「基礎からわかる事業継続力強化計画」をテーマに独立行政法人中小企業基盤整備機構 沖縄事務所 藤岡 敬一 中小企業アドバイザーから講演をいただき、続いて「事業継続力強化計画を作成した経験談」をテーマに沖縄県損害保険代理業協会 岸本 学 理事に講演をいただきました。

講演会後のアンケートでは、「事業継続力強化計画についてわかりやすかった」「計画作成の実体験を聞いてよかった」といったコメントをいただきました。

沖縄支部では、中小企業基盤整備機構など関連団体と連携し、事業継続力強化計画やBCPの作成推奨活動を行うとともに、災害発生時の備えについて普及して参ります。



藤岡アドバイザーの講演



岸本理事の講演



大城会長挨拶



会場の様子